

【北海道支部】

◎第65回大会予告

日本英文学会北海道支部第65回大会が、2020年11月28日(土)に藤女子大学(札幌市北区北16条西2丁目)において開催される予定でしたが、コロナウイルスの感染拡大防止という観点から、非対面での実施に変更を予定しております。詳細につきましては、決まり次第、支部HPに掲載予定です。

◎電子メールアドレス登録について

北海道支部事務局では、会員の方々に電子メールアドレス登録のご協力をお願いしております。支部からの連絡は、原則として電子メールを通して行っております。まだ登録されていない会員、あるいはアドレスに変更が生じた会員におかれましては、速やかに事務局(hokkaido@elsj.org)にご連絡のほどよろしくお願い申し上げます。

◎支部事務局

本年度の事務局は下記にて運営しております。

〒069-8501 江別市文京台緑町582番地
酪農学園大学 藤田佳也研究室内
日本英文学会北海道支部事務局
[TEL/FAX] 011-388-4704
[メールアドレス] hokkaido@elsj.org
[ホームページ] <http://www.elsj.org/hokkaido/>

(文責 藤田佳也)

【東北支部】

◎第75回支部大会開催予告

第75回東北支部大会は、当初2020年11月21日(土)にコラッセふくしまで開催を予定しておりましたが、コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、慎重に検討を重ねた結果、通常の実施を取りやめ、支部ホームページ(<http://www.elsj.org/tohoku/>)にてウェブカンファレンス形式で開催することとなりました。開催の詳細および最新の情報につきましては、支部ホームページにてお知らせいたします。

◎『東北英文学研究』第11号について

今年は4編の投稿がありました。6月27日の編集委員会にて投稿論文の審査を終え、審査結果が編集委員会の審査所見とともに投稿者に送られました。修正論文の受付を8月16日までとし、その再審査が9月上旬に行われ、最終的に第11号に掲載される論文が決定されます。

◎『東北英文学研究』第12号原稿募集

『東北英文学研究』第12号の原稿を募集しています。締切は2021年4月30日です。支部ホームページ(<http://www.elsj.org/tohoku/>)にある投稿規程をご覧の上、事務局(tohoku@elsj.org)宛に奮ってご応募ください。支部ホームページより、論文のテンプレートとカバーレターをダウンロードしてお使い下さい。

会員の皆様におかれましては、東北支部の機関誌である『東北英文学研究』を研究成果発表の場として積極にご活用いただけたら幸いです。

(文責 竹森徹士)

【関東支部】

◎関東支部第19回大会(2020年度夏季大会)順延

日本英文学会関東支部第19回大会(2020年度夏季大会)は、2020年7月4日(土)、駒澤大学駒沢キャンパスにて開催が予定されていましたが、コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、2020年度秋季大会に順延することになりました。

◎関東支部第19回大会(2020年度秋季大会)予告

日本英文学会関東支部第19回大会(2020年度秋季大会)は、2020年11月8日(日)にZoomによるウェブ大会として開催することになりました。本年度は支部大会資料統合版は紙媒体で刊行しないことになりましたので、詳細については本部HP掲載の情報をご覧ください。

◎『関東英文学研究』第13号について

『関東英文学研究』第13号の応募を2020年5月15日(金)に締切りました。投稿数は8本ありました(英文学3本、米文学5本)。7月8日(水)から12日(日)までメール審議で開催された編集委員会にて、評価を取り纏めました。審査結果は同月中旬に投稿者に通知いたしました。

◎理事会報告

2020年3月23日(月)から27日(金)までメール審議にて2019年度第3回理事会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 2020年度理事会
2. 2020年度の大会
3. 2020年度編集委員会
4. 2020年度大会準備委員会
5. 2020年度日本英文学会関東支部事務局
6. 2020年度関東支部予算書
7. 関東支部出版事業

2020年7月24日(金)から29日(水)までメール審議にて2020年度第1回理事会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 2020年度の大会
2. 2020年度投稿論文
3. 2019年度事業報告・決算
4. 『関東英文学研究』への投稿、転載許可
5. 関東支部の理事選挙の改革

2020年度の日本英文学会関東支部理事は以下の通りです。(敬称略・50音順)

支部長・本部理事

阿部公彦(東京大学)

副支部長

奥聡一郎(関東学院大学)

本部理事

原田範行(慶應義塾大学)

本部監事

斎藤兆史(東京大学)

本部評議員

後藤和彦(東京大学)

他の理事

新井潤美(東京大学)、アルヴィ宮本なほ子(東京大学)、岩永弘人(東京農業大学)、遠藤不比人(成蹊大学)、大石和欣(東京大学)、大申尚代(慶應義塾大学)、越智博美(専修大学)、川端康雄(日本女子大学)、秦邦生(東京大学)、竹内美佳子(慶應義塾大学)、武田将明(東京大学)、田尻芳樹(東京大学)、寺澤盾(東京大学)、中井亜佐子(一橋大学)

2020年度の日本英文学会関東支部事務局員は以下の通りです。(敬称略)

事務局長

竹内理矢(明治大学)

事務局長補佐

笹川渉(青山学院大学)

理事会書記

吉野由起(東京女子大学)

編集委員会書記

石川大智(慶應義塾大学)

大会準備委員会書記

溝口昭子(東京女子大学)

ウェブ担当

小島尚人(法政大学)

編集委員長

竹内美佳子(慶應義塾大学)

副編集委員長

麻生えりか(青山学院大学)

副編集委員長

深瀬有希子(実践女子大学)

副編集委員長

斎藤弘子(東京外国語大学)

編集委員

石黒太郎(明治大学)、石原剛(東京大学)、

井上麻未(聖路加国際大学)、猪熊恵子(東

京医科歯科大学)、小川公代(上智大学)、

梶原照子(明治大学)、兼武道子(中央大

学)、北川依子(東京工業大学)、倉林秀

男(杏林大学)、阪本久美子(日本大学)、

笹川浩(中央大学)、中谷崇(横浜市立大

学)、古井義昭(立教大学)、増田珠子(駿

河台大学)、和治元義博(北里大学)

◎編集委員会報告

2020年5月19日(火)から24日(日)までメール審議において2020年度第1回編集委員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 本年度の編集方針・校正スケジュール
2. 投稿規定の確認、論文の体裁、取り扱い
3. 優秀論文賞・新人奨励賞(村山賞)の選考方法
4. 委員の任期
5. 特別寄稿論文の依頼・審査手順

2020年7月8日(水)から12日(日)までメール審議において2020年度第2回編集委員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 投稿論文査読結果・審議
2. 特別寄稿論文査読結果・審議
3. 2021年度の特稿寄稿論文の依頼手順
4. 投稿規定に反する論文の取り扱い、今後の方針決定

今年度の編集委員は以下の通りです。(敬称略・50音順)

◎大会準備委員会報告

2020年度第19回夏季大会の開催について、コロナウイルス感染拡大の状況と開催校の授業形態を確認しつつ、4月から5月にかけてのオンラインとメール会議にて慎重に検討をいたしました。その結果、夏季大会のプログラムを秋季大会にスライドをすることが決定しました。2020年度秋季大会の開催形態を対面式とするかウェブ式とするかは、6月から7月にかけての2回のメール会議を経て継続審議になりましたが、8月初頭にウェブ式とすることが決定いたしました。

上記以外の主な議題は以下の通りです。

1. 2021年度の新規委員の決定手順
2. 今後の大会企画担当の確認
3. 2020年度秋季大会プログラム作成手順
4. 秋季大会司会者の決定手順

今年度の大会準備委員は以下の通りです。(敬称略・50音順)

大会準備委員長

岩永弘人(東京農業大学)

副委員長

川崎明子(駒澤大学)

大会準備委員

今井純子(順天堂大学)、加藤有佳織(慶應義塾大学)、木谷巖(帝京大学)、久世恭子(東洋大学)、佐藤里野(東洋大学)、関戸冬彦(白鷗大学)、田代尚路(大妻女子大学)、古屋耕平(神奈川大学)、宮本文(専修大学)、山本真司(青山学院大学)

◎事務局よりご連絡

1. 今年度は、関東支部理事選挙が行われます。かねてから支部理事会では投票率を改善する方法を模索していたところでありますが、本年はこれに加えて新型コロナウイルスの拡大に伴い集計作業等にも困難が生ずる可能性があります。支部としてはこれらの問題に対応するため、現在ウェブ投票の導入を検討しており、すでに総会でも選挙規定の変更についてはお認めいただいたところです。詳しいことは支部Webサイト等でお知らせいたしますので、よろしくお願い致します。なお、前回につづいて事前に自薦・他薦に基づいた「理事候補者」のリストをお知らせすることになっておりますので、投票の際、参考にしていただければ幸いです。理事選挙は支部会員の皆様の声を学会運営に生かすための貴重な機会です。投票へのご協力をお願い申し上げます。
2. 2019年度より日本英文学会の『大会Proceedings』は冊子体での発行を廃止し、ウェブ上で公開する電子版(PDF版)へ

と移行されました。それに伴い「関東支部大会Proceedings」を関東支部HPにて公開しております。第16回大会(2018年度秋季大会)と第17回大会(2019年度夏季大会)の研究発表とシンポジウムが掲載されていますので、ぜひご覧ください。それ以前のプロシーディングズにつきましては、既刊の冊子体をご覧ください。

3. 『関東英文学研究』はここ数年、論文投稿数が徐々に増加傾向にありましたが、今年度は昨年度と比べてやや減少いたしました。関東支部は、意欲ある研究者を応援いたします。英文学、米文学、英語学、英語教育学など、さまざまな分野および領域の横断に対応しています。優秀な論文には、新人奨励賞・優秀論文賞を授与しています。若手の方もどうぞ積極にご投稿ください。次号の締切は2021年5月15日の予定です。投稿規程については最新の『関東英文学研究』もしくは関東支部HPの「編集委員会」のページをご参照ください。
4. 関東支部では、会員の皆様に向けたメールマガジンを発行しております。現在のところ会員の約3分の1の方が登録されています。支部大会等の情報を確実に入手できるだけでなく、関東地区で開催される、英米文学・英語学・英語教育学関係の学術イベントの情報もご覧いただけます。登録の手続きは、メールで関東支部事務局(kanto@elsj.org)宛にお名前と配信希望をお知らせいただくだけです。また、会員各位の企画した学術イベントを、メールマガジンで告知することも可能です。ご希望の方は、同じくメールで関東支部事務局宛に詳細をお知らせくだ

さい。

5. 関東支部では、中学校、高等学校を対象に、支部会員を英米文学／英米文化に関する講演や授業に講師として派遣しています。講演や授業をご希望の中学校、高等学校、教育委員会関係者の方々は、ぜひ関東支部事務局 (kanto@elsj.org) までご連絡ください。学会として協力が可能であると判断した場合には、学会で講師の斡旋、依頼を行い、さらに、講師派遣に関わる講演料を基金から支出します。詳しくは、支部HPの「講師派遣事業」のページをご参照ください。

(文責 竹内理矢)

【中部支部】

◎事務局移転

2020年4月1日から、事務局が岐阜大学・相山女学園大学に移転しました。(連絡先住所は、当面岐阜大学に一元化いたします。) 新事務局のメンバーおよび住所等は下記のとおりです。

支部長：

内田 勝(岐阜大学)

副支部長：

長澤 唯史(相山女学園大学)

事務局長：

内海 智仁(岐阜大学)

事務局長補佐：

林 日佳理(岐阜大学)

書記：

平野 順雄(相山女学園大学)

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

岐阜大学地域科学部 内海智仁研究室内

日本英文学会 中部支部事務局

TEL：058-293-3090

FAX：058-293-3008

(Faxは当事務局の専用ではないので、Fax送信の際は「日本英文学会 中部支部事務局」宛であることを明記してください。)

E-mail：chubu@elsj.org

Website：http://www.elsj.org/chubu/

任期は2022年3月までです。

よろしく願い申し上げます。

◎支部長挨拶

三重大学からバトンを受け継ぎ、2020年4月1日より岐阜大学と椋山女学園大学が合同で、中部支部の事務局を担当することとなりました。

日本英文学会中部支部は、中部8県（愛知、石川、岐阜、静岡、富山、長野、福井、三重）における英語文学研究および英語学研究的拠点として、1950年から現在まで70年にわたって中心的な役割を担ってきました。

現時点での支部会員数は320名余りですが、緩やかな減少傾向が続いていることは否めません。会員数の減少による支部活動の不活性化が懸念される中、事務局としては、会員の皆様の研究成果の発信の場として、また会員相互の交流の場として、中部支部の活動を支えてまいりたいと考えております。

会員の皆様におかれましては、学会誌『中部英文学』へのご投稿や、支部大会での研究発表、シンポジウムへのご登壇、そしてもちろん毎年10月に開催される支部大会へのご参加など、中部支部の一連の活動への、これまで以上の積極的なご協力をよろしくお願い申し上げます。

(内田勝)

お知らせします。

◎つねに最新の会員情報をお知らせ下さい

氏名、住所、メールアドレス、勤務先、職位等の異動があった場合は、速やかに本部事務局と支部事務局の両方にご連絡ください。また、メールアドレス未登録の方は、業務効率化のため、ぜひともご登録をお願いいたします。いただいた個人情報は、中部支部の業務のみに使用し、他の用途には使用しません。

(文責 内海智仁)

◎『中部英文学』第40号投稿論文審査状況

4件（イギリス文学3件、英語教育1件）の投稿がありました。7月11日（土）にオンライン開催された編集委員会において慎重に協議した結果、再審査1件、不採用3件と決定されました。再審査が必要とされた論文の修正状況を確認の上、9月中旬に掲載論文を決定します。

◎第72回支部大会

10月24日（土）に岐阜大学で開催予定だった第72回支部大会はウェブ開催となりました。プログラム等詳細は、本部HP、支部HPでお

【関西支部】

◎機関誌『関西英文学研究』第14号(『英文学研究支部統合号』第13号)について

来年1月の発行に向けて、現在編集作業中です。本年度の編集委員は、【イギリス文学部門】石倉和佳(兵庫県立大学)、伊藤正範(関西学院大学)、金山亮太(立命館大学)、川島伸博(龍谷大学)、前原澄子(武庫川女子大学)、溝口薫(神戸女学院大学)、莊中孝之(京都女子大学)、横内一雄(関西学院大学)【アメリカ文学部門】秋元孝文(甲南大学)、小林久美子(京都大学)、西山けい子(関西学院大学)、白川恵子(同志社大学)【英語学部門】石野尚(大手前大学)、黒川尚彦(大阪工業大学)、森川文弘(姫路独協大学)、米倉よう子(奈良教育大学)の計16名(敬称略・分野別五十音順)。委員長は横内一雄、副委員長は莊中孝之の各氏です。

機関誌には全部で7編の投稿があり、掲載論文と奨励賞論文について現在審査中です。特別寄稿論文執筆者は、小澤博(関西学院大学)、石塚則子(同志社大学)、由本陽子(大阪大学)の各氏、書評「私の一冊」執筆者は、川島健(同志社大学)、中川優子(立命館大学)、深田智(京都工芸繊維大学)の各氏を予定しています。

◎第15回支部大会について

12月20日(日)に近畿大学Eキャンパスで開催予定の支部大会にむけて4月と7月に大会準備委員会を開催し、目下準備作業中です。本年度の大会準備委員は、【イギリス文学部門】鴨川啓信(京都女子大学)、木下由紀子(神戸女子大学)、桐山恵子(同志社大学)、団野恵美子(大阪芸術大学)【アメリカ文学部門】大川淳(京都ノートルダム女子大学)、森本道孝(大阪大学)【英語学部門】寺田寛(大阪教育大学)、平井大

輔(近畿大学)【開催校委員】藤澤博康(近畿大学)の計9名(敬称略・分野別五十音順)、委員長は団野恵美子、副委員長は鴨川啓信の各氏です。

プログラムについては本部HPをご覧ください。9月中旬に関西支部HPでもお知らせいたします。

なお、今大会は新型コロナウイルスの影響により、Zoomを用いたオンライン開催となります。大会本部のみを近畿大学に設置し、研究発表およびシンポジウムはオンラインにて行います。詳細につきましては関西支部HPでお知らせいたします。

◎支部体制について

2020年度は以下の体制で運営しております。

支部長

新野緑(神戸市外国語大学)

副支部長

水野真理(京都大学)

理事(五十音順)

家入葉子(京都大学)、小澤博(関西学院大学)、金澤哲(京都女子大学)、里内克巳(大阪大学)、玉井史絵(同志社大学)、新野緑(神戸市外国語大学)、西山けい子(関西学院大学)、水野真理(京都大学)、山田雄三(大阪大学)、若島正(京都大学)

支部長推薦理事(五十音順)

川島伸博(龍谷大学)、廣田篤彦(京都大学)、難波江仁美(神戸市外国語大学)、西谷拓哉(神戸大学)、谷口一美(京都大学)

事務局

事務局長

難波江仁美（神戸市外国語大学）

副事務局長

竹山友子（関西学院大学）

会計

大西寿明（神戸市外国語大学）

補佐

中土井智（神戸市外国語大学・院）

廣野允記（関西学院大学・院）

会計監査

西出良郎（奈良女子大学）

金津和美（同志社大学）

本部理事

新野緑（神戸市外国語大学）

本部評議員

竹村はるみ（立命館大学）

◎事務局

事務局は下記のとおりです。

〒651-2187

兵庫県神戸市西区学園東町9-1

神戸市外国語大学英米学科

日本英文学会関西支部事務局

電子メール：kansai2@elsj.org

ホームページ：http://www.elsj.org/kansai/

（文責 難波江仁美）

【中国四国支部】

◎中国四国支部第73回大会準備委員会報告

第73回大会準備委員会を2020年5月30日（土）にオンライン（Zoom）で開催し、このたびの新型コロナウイルスの感染拡大の事態を受け、本年度の支部大会の開催について協議しました。その結果、第73回大会は【来年に延期】となりました。2021年10月23日（土）と24日（日）に、県立広島大学にて開催される予定です。大会の詳細につきましては、また改めてご案内申し上げます。

◎中国四国支部理事選挙（電子投票）について

2020年度は、二年に一度の支部理事の改選時期にあたります。2019年度支部総会の決議に基づき、今回の理事選挙は電子投票で実施することとなりました。7月中旬にメールアドレスの登録に関するご案内のハガキをお送りし、8月中旬に投票案内メールを配信しました。つきましてはメールに示された要領で、9月30日（水）までにご投票ください。

◎2020年度中国四国支部総会（メール・書面審議）について

第73回大会が来年に延期となったことを受け、本年度の総会はメールまたは書面による審議といたします。詳細は10月以降、支部ホームページにてお知らせします。

◎学会誌編集委員会報告

『中国四国英文学研究』第17号（『英文学研究 支部統合号』第十三巻）の編集委員会を2020年7月4日（土）にオンライン（Zoom）で開催し、5編の投稿論文の第一次審査を行い、そのうちの5編すべてを再審査としました。

◎支部事務局

本年度の事務局は下記にて運営しております。

事務局長： 榎田 一路 (広島大学)

事務局長補佐： 松本 舞 (広島大学)

日本英文学会中国四国支部 事務局

〒739-8521

東広島市鏡山1-7-1

広島大学外国語教育研究センター

榎田一路研究室内

TEL/FAX: 082-424-6446

Email: chu-shi@elsj.org

HP: <http://www.elsj.org/chu-shi/index.html>

(文責 榎田一路)

【九州支部】

◎九州支部ホームページについて

日本英文学会九州支部のホームページ (<http://kyushu-elsj.sakura.ne.jp/>) には、『九州英文学研究』投稿規定、支部大会関連情報、評議員会・理事会や編集委員会の議事録、その他の重要な情報が掲載されています。積極的に御活用いただければ幸いです。

◎機関誌『九州英文学研究』について

- 1) 機関誌『九州英文学研究』第36号(『英文学研究支部統合号』第12巻)が刊行されました。アメリカ文学1編(徳瀬)、英語学1編、計2編の論文が掲載されました。
- 2) 編集委員の早瀬博範氏(アメリカ文学部門)が2020年3月31日に退任され、後任として宮本敬子氏(アメリカ文学部門)が選出されました。任期は他の委員と同じく2021年3月31日までです。
- 3) 機関誌『九州英文学研究』第37号(『英文学研究支部統合号』第13巻)は、2021年1月発行に向けて、小林潤司編集委員長(イギリス文学、鹿児島国際大学)、高橋勤副編集委員長(アメリカ文学、九州大学)、福田稔副編集委員長(英語学、宮崎公立大学)を中心に、【イギリス文学部門】鶴飼信光(九州大学)、後藤美映(福岡教育大学)、虹林慶(熊本県立大学)、宮川美佐子(福岡女子大学)、大和高行(鹿児島大学)、【アメリカ文学部門】岡本太助(九州大学)、高野泰志(九州大学)、竹内勝徳(鹿児島大学)、宮本敬子(西南学院大学)【英語学部門】大橋浩(九州大学)、西岡宣明(九州

大学)、松元浩一(長崎大学)、山田英二(福岡大学)の計16名(敬称略・部門ごと五十音順)からなる編集委員会が、編集委員、及び、3名の外部審査委員の審査報告に基づき掲載論文と優秀賞論文・奨励賞論文について審議いたしました。投稿論文は、英文学5編、米文学5編、英語学1編の計11編でした。8月1日の編集委員会にて投稿論文の審査を終えた後に、審査結果が編集委員会から投稿者に送られる予定です。再審査論文の再提出後、9月半ばにその審査を経て、最終的に第37号に掲載される論文が決定されます。

◎第73回(2020年度)支部大会について

第73回支部大会は、2020年10月17日(土)・18日(日)の両日に、西南学院大学(福岡市)での開催を目指し準備を進めてきましたが、新型コロナウイルスの流行に収束が見えず、学会が開催される頃には再流行の可能性もあるため、開催校の方針を参考に事務局で協議した結果、大学での開催は難しいという結論になりました。しかしながら、学会は研究成果を発表しフィードバックを得る貴重な場であることを考慮し、その機会を確保すべく、今年度の支部大会は(一般発表・招待発表・シンポジウム全てにおいて)希望者によるウェブカンファレンスへの変更を提案し、九州支部編集委員・理事・評議員によって認められました。

ウェブカンファレンスの詳細については九州支部ホームページ(<http://kyushu-elsj.sakura.ne.jp/>)で情報を公開していますのでご確認下さい。

◎支部事務局

令和2年度の事務局は下記にて運営しております。

〒819-0395 福岡市西区元岡744
九州大学基幹教育院大橋浩研究室内
TEL (092) 802-6034
E-mail: elsj.kyushu.branch@gmail.com
HP: <http://kyushu-elsj.sakura.ne.jp>

支部長・日本英文学会理事
大橋 浩(九州大学教授)
日本英文学会評議員
鶴田 学(福岡大学教授)
副支部長
大津隆広(九州大学教授)
『九州英文学研究』編集委員長
小林潤司(鹿児島国際大学教授)
事務局長
田中公介(産業医科大学准教授)
書記(会計)
西村 恵(福岡大学非常勤講師)
書記(大会準備、web管理、編集)
大塚知昇(九州大学助教)
書記(大会準備、web管理、編集)
永次健人(長崎総合科学大学講師)

(文責 田中公介)

